

書名：續文章軌範百家評註  
頁碼：16~17  
作者：(明) 鄒守益 編  
出版時間：1368-1644

釋策

ハウ  
ナシ  
テ計リテ長キアリ  
此句前句ニ  
用君之  
心行君意  
意ハソコ  
リ吾心ニテ推察シ  
テ吾ガソコゴ、ロ  
ニ、此事ハナシタキ  
ト、オモフ事ヲ行フ  
ハキ  
ナリ

遊  
前篇至字ニ作ル  
前篇ハ叙事ヲ主  
トシ傳中ニ此篇ヲ  
入ル故ニ省畧又文  
字ノ斟酌アリ、例  
ニ論スル能ハサル  
ナリ  
前篇演ニ作ル  
ハフチナリ

此レ漁父ノ漁スル  
所ヲ言フ故ニ導字  
ヲ用  
フ  
ニゴラスナリ其泥  
ヲ我カ清キ方ニ釋  
ヘ又其濁流ノ波ヲ  
モ我が方ニ懸ヘ揚  
ル前篇ト共ニ深思高  
意異ナリ  
楚辭及ビ前篇ニ  
舉  
懷瑾握瑜ニ作ル  
楚爾  
ニツヨリ  
ワラフ良  
鼓拙  
シテコギユク  
シテコギユク  
ノヒモ貴ノ  
キモノ

詹尹乃釋策而謝曰夫尺有所短寸有所長物有所不  
足智有所不明數有所不逮上四句類ヲ引キ起ス此  
句及ビ下句主筭ハ數ヲ  
推シテ吉  
凶ヲ占フ  
神有所不通龜ハ靈物故ニ神トナス神妙  
ト云フ其理ニ通ゼ又所アリ  
用君之心行君之意龜策上ノ數ト神  
ト承ク誠不能知此事  
此ニトスルニ及バザルヲ以收結ス此其心  
固ヨリ疑ハズ只疑辭ヲ設テ其意ヲ述ルナリ

漁父辭

屈原

後世詞賦ヲ作ル者多ク主客問答ヲ假設ス  
皆屈原漁父ノ答問ヲ祖トス然ドモ皆此ニ  
及ブ者無シ此篇上屈原傳中ニ  
出ツ故ニ此ニ其解ヲ畧ス

屈原既放遊於江潭行險澤畔顏色憔悴形容枯槁一  
段問答ノ起ル  
所以ヲ叙ス  
漁父見而問之曰子非三閭大夫與何  
故至於斯屈原曰舉世皆濁我獨清衆人皆醉我獨醒

此レ漁父ノ漁スル  
所ヲ言フ故ニ導字  
ヲ用  
フ  
ニゴラスナリ其泥  
ヲ我カ清キ方ニ釋  
ヘ又其濁流ノ波ヲ  
モ我が方ニ懸ヘ揚  
ル前篇ト共ニ深思高  
意異ナリ  
楚辭及ビ前篇ニ  
舉  
懷瑾握瑜ニ作ル  
楚爾  
ニツヨリ  
ワラフ良  
鼓拙  
シテコギユク  
シテコギユク  
ノヒモ貴ノ  
キモノ

是以見放第一二段放流セララル 漁父曰聖人不凝滯於  
物而能與世推移世人皆濁何不泓其泥而揚其波衆  
人皆醉何不鋪其糟而歎其醜何故深思泓其泥  
ト反ス 高舉  
鋪其糟ト反ス皆世ニ異  
ニシテ廉潔ヲ立ルヲ言  
自令放爲第三段  
難問 屈原曰吾  
聞之新沐者必彈冠新浴者必振衣安能以身之察察  
受物之汶汶者乎寧赴湘流葬於江魚之腹中又安能  
以皓皓之白而蒙世俗之塵埃乎第四段難  
解ス 漁父莞爾  
而笑其意始テ  
解了ス 鼓拙而去歌曰滄浪之水清兮可以濯  
吾纓清世ニハ仕  
ベキニ喻フ 滄浪之水濁兮可濯吾足濁世ニ  
仕フベ  
カラザル 遂去不復與言  
ニ喻フ

春夜宴桃李園序

李太白

李太白

續文章軌範注釋卷一